

令和5年度 第2回 鈴西小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和5年7月11日(火) 10:00～11:40

2 場 所 鈴西小学校 多目的ホール

3 委員長挨拶

(前回、事情で欠席)

前任の名村先生の後を受けて、委員長を引き受けることになった。今までずっと運営協議会に関わってきたが、何か一步でも前進できるような会議にしていきたい。委員全員で気づいたことを出し合って、学校が少しでも良くなるように進めていきたい。

4 学校長挨拶

暑い日が続いている。今日も熱中症アラートが出ており、児童の下校時が暑さのピークになりそうだ。昨日はクラブ終了後、急に空が暗くなり、激しい雨と雷に見舞われた。気象情報を集めて対応を検討し、児童を待機させることにした。16時30分すぎに雨と雷も落ち着き、下校できると判断した。多くの保護者が迎えに来られたので、残っていた児童は20人弱。地区を把握し、職員で見守りをしつつ下校させた。最近はこうした短時間の豪雨があり、判断が難しい時があるが、安全に下校させることができた。

4年ぶりのプール学習は順調に進んでいる。天候もよく、3年生以上は予定の授業時間を終え、1・2年生もあと1回。しばらくプール関係の施設を使っていなかったことで、傷んでいるところが多い。特に更衣室は雨漏りをしていて、応急処置を行った。プール学習終了後、来年度に向けて改善を進めていく。

5 協議事項

(1) 教育活動の状況について

[学校長より学校だよりをもとにこれまでの学校や子どもの様子を報告]

- ・鈴鹿ヴォイス FM ・プール掃除
- ・小学校のプール授業の市の方針(今後も継続)
- ・図書巡回指導員の紹介、読書目標と昨年度実績
- ・現在行われている図書まつり
- ・読み聞かせボランティア(現在隔週木曜日、1～3年で実施。様子を見て拡大)
- ・図書環境整備ボランティア
- ・町たんけん、図工や体育、書写での指導補助でボランティアが活動  
ボランティアを再スタートしたので、やれる範囲での実施
- ・5年生の自然教室 大杉谷自然学校 さまざまな体験
- ・家庭学習強化週間(中学校区での取り組み) 朝食の喫食率が高く、早寝早起き朝ごはんの基本的な生活リズムはよくできている。「ゲームの時間を管理することが大事」と改めて啓発する。
- ・サーチ学習を3つのテーマで3カ年で進め、どの子ども在学中に3テーマに取り組むようにした。今年はその3年目で、テーマは「鈴西小学校のことをもっと知ろう」。ゲストティーチャーに聞いたり、学校にある古い資料を見たり、人に聞いたりして情報を児童自身で集めている。どんな学習になるか楽しみ。

- ・学力調査，みえスタディチェックの結果
- ・来週から外国籍児童2名入学する。学校だよりもルビつきに。

## (2) 2学期の行事について

### ア 運動会について

[学校長から現時点での内容を資料を基に説明]

昨年度，昨年度は低学年，中学年，高学年の3部制で行った。

今年度は全校一斉で開催したい。午前中に競技を行い，教室で昼食をとり，午後から振り返りと片付け。コロナ以前と昨年度までの折衷案のような形での開催。来賓として招待させていただくので，ご都合よければご参加を。

### イ 森のまつりについて

[学校長から現時点での内容を資料を基に説明]

昨年度の内容をベースに，子どもたち企画で何かできないかを模索中。

サーチ学習で森のまつりについて調べている児童もいるので，今後どのように進めていけるか検討している。

《委員の皆様から》

- 学校だよりの内容が，地域人材や施設等を生かした鈴西小ならではの活動や，自然を楽しんでいる活動が載せられていて，児童の積極的な活動の様子がよくわかる。机上の勉強も大事だが，体験や遊ぶことも大事。子どもたちにとって，とてもいい勉強になっていると感じる。
- サーチ学習の3年サイクルが，とてもいい取組だと思う。特に今年は「鈴西小学校のことをもっと知ろう」というテーマで，ネットには載っていないことなので，親子のコミュニケーションにつながる。親が鈴西小学校の卒業生の場合，自分のときはどんなことをしていたかを話したり，アルバムを開いて見たりして，学校を通じて親の子どもころのことを教えられる機会になっている。  
⇒児童が親に話を聞く体験が，あと2つのテーマ「お茶」「植木」のときにも生かされてほしいと願っている。お茶や植木について学習した際，お茶や植木に携わっている家庭の児童でも，ネットで調べていた。目の前の父母，祖父母に聞く発想になってくれたらと思っている。
- 夏のプール開放はあるのか。  
⇒5年ほど前から，鈴鹿市ではプール開放はなくなってきた。PTAが主になって開放事業を行ってきたが，四日市市での事故もあり，プール監視者は水着の着用が必須となった。プールの維持管理にも費用がかかる上，新型コロナウイルスの感染防止対策も必要になった。これらの事情から，現在プール開放は難しい。
- 夏のプール開放は楽しみにしている子が多いが，維持管理の難しさもある。学校でやっていたことがいろいろ制限されていくのは残念だが，仕方がない。5年生の自然教室は，数年前はなるべく青少年センターを使うようになっていたが，今もそうなのか。  
⇒青少年センターが改修され，管理も鈴鹿市から三重県に変わった。運営形態が変わったので，市の方針がどうなるかはまだ分からない。
- 自然に親しめるところで開催してほしいと願う。
- 自分が子どもの頃の自然教室は，小岐須溪谷に行っていた。雨で行けず，学校でのキャンプになったが，楽しかった。
- 子ども主体の活動が大事。そうした活動が増える行事を考えてほしい。  
⇒ゲストティーチャーを招いた特別授業を活用する等して，体験機会を増やして

いきたい。農業法人久間田の方が、5年生の稲作体験をていねいに指導してくださっている。こうした地域の力をかりながら、よりよい教育活動にしていきたい。

## 6 情報交換・その他

- ◇ 教育講演会 8/18(金) 13時~受付  
参加希望の方は、教頭まで連絡を。
- ◇ 人権フォーラムれいほう 12/12(火) 鈴峰中 13:45~  
中学校区の4つの小学校(椿小, 庄内小, 深伊沢小, 鈴西小)と鈴峰中学校で、仲間づくりについて3つの分科会に分かれて子どもたちで話し合う。  
ご都合よろしければ参観し、感想を伝えていただけるとありがたい。
- ◇ 小中連携 校区夏季教育研修会 8/3(木) 鈴峰中
- ◇ 小中連携 先進地視察 春日井市の小中学校  
校区の小中学校合同の取組として、春日井の小中学校に視察に行っている。  
春日井はクロムブックを使っていて、日常的なICT活用が進んでいる。  
6月13日に本校からも1人、視察に行った。2学期以降も授業公開があるので視察に行き、校区で共通の指導ができるよう還元学習を行う。

### 《委員の皆様から》

- 学校現場を離れてみて、「いかに学校は入りにくいところか」と分かった。  
学校が閉鎖的ということではなく、変に遠慮してしまう。せっかく運営協議会の場があるので、話し合っ、少しでも保護者や地域の人が入りやすい学校にしていけたらと思う。
  - 不審者の報道や、学校の敷地で何か事件が起こると、「学校は警戒しているから、入りにくい」と感じてしまう。
  - 先生にも、子どもにも、警戒心がある。
  - 学習ボランティアも、難しい面がある。授業のじゃまになってはいけない。  
安全面のこともある。
- ⇒本校は、どこからでも入れるような構造になっている。心理的なものが大きいので、少しでもそういう垣根をなくしていきたい。
- 
- 鈴西の森を、児童が安心して使える場所にしていきたい。昼間も真っ暗。人がいても分からない。草も気になる。
- ⇒草については、PTAの環境部で除草作業をしている。8月末、9月末にも行う。11月の環境整備デーは全校児童・保護者で行う。  
樹木の伐採については、難しい。高さが校舎よりも高くなってきているので、「この木が倒れて校舎が壊れたら大変」と、懸案事項として教育委員会に伝えているが、予算がなく進んでいかない。特に今年は市内の小学校のプール設備の修理に費用がかかって、お金がなくて進められない事柄が多い。
- 
- PTAだけで進めていくのも、大変。
- ⇒保護者の中に造園業の方がいて、毎年定額で芝生や植木の管理をしてくれている。全く収入にならないような、かなり少ない金額で引き受けてくれている。- 要望を挙げ続けていくのが大事。学校から言うよりも、近隣の家の方が市に言ったらすぐ動いてくれたケースもある。
- PTAの除草はやっている。樹木を切る作業は以前はやっていたが、今は植木屋を営んでいる保護者も減り、バリカンを持っている人もほぼいないので、

難しくなった。

- 昔は保護者がトラック、クレーン車を持ってきてくれていた。保護者に頼ってはいけない。自治会長から市に要望を伝えてもらえるとずいぶん違ってくるので、ぜひお願いしたい。
- 危険を訴えても、市から対策に来てくれないのか。  
⇒木が倒れていたらすぐ来てくれるけれど、倒れていない木を「切り揃える」ぐらいでは、予算がないので、動いてもらえない。
- 危険を訴えても、市から対策に来てくれないのか。  
⇒木が倒れていたらすぐ来てくれるけれど、倒れていない木を「切り揃える」ぐらいでは、予算がないので、動いてもらえない。
- 久間田地区では、電線が近くにあるところでは、危険度に合わせて色分けしたテープを幹につけて、伐採を行っている。(参考までに)
- 下大久保地区、27日に防犯カメラを取り付ける。花川の自治会長とも、どこにあったらいいかを話している。10月に取付予定。どうやって運用するかは、これから。  
⇒学校前の道路では、今年に入ってすでに6件の事故が起きている。昨日も事故があった。安全のため、防犯カメラの設置は本当にありがたい。
- 鞠鹿野地区では、メイン道路にユーカリの木がある。もしその木が倒れてしまって、被害にあわれる人がいたら、誰の責任になるのかと話をしている。鈴西の森も同じ。鈴西の森の木が倒れて、誰かがけがをしたら…と考えると、早急に整備を進めなければいけない。人的被害が出そうなところから、先に進めるべき。
- 近所の公園でも、かれた枝でけがをした案件があった。そういうことは学校でもあるのか。  
⇒昨年、1本枝が折れたことがあり、その時は市もすぐに来て対応してくれた。伐採ではなく、枝を1本処理するだけなので、費用があまりかからない。
- 鈴西の森を、もっと生かしたい。子どもたちが安心して行けるようにしたい。  
⇒鈴西の森は、低学年の秋さがしをしたり、カブトムシやクワガタをつかまえたりするのに、とてもよい場所。掃除の時間は、子どもたちもブローを使って掃除している。できるだけ活用していきたい。うすぐらいなので、木の高さを半分にしてもらえたら、と思っている。
- 鈴西小の西側の道路で、歩道工事が始まっている。  
⇒7月10日から2週間ほどの工事。実現するまでに3年かかった。
- 市内の南の方では、統廃合の話があるが、鈴西小学校はそういう話はあるか。  
⇒鈴峰中学校区の小学校も、校区再編会議が開かれた。椿小や庄内小は100人を下回っている。先を見据えて、どうするか検討している。市では、ある程度の学級数を維持して、学習だけでなく人間関係も学んでいけるようにという方向で進んでいる。再編すると、通学や自治会についても問題が発生する。